

板城小学校区住民自治協議会だより

第7号

平成27年1月1日発行

板城小学校区住民自治協議会・自治広報部会

☎・📠 082(425)2688

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

頌
春

板城小学校区住民自治協議会
会長 山村信和



皆様には、清々しく新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、地域パトロールやあったか弁当づくりのほか、環境美化作業、市民スポーツ大会への参加や区民まつり開催など多くの事業を滞りなく実施することができました。これもひとえに各部会員の英知と努力の賜物であり、また地域の皆様の御支援と御協力があったのものと厚く感謝申し上げます。

さて、昨年はソチ五輪での日本人選手による8つのメダル獲得や青色LED開発者3人へのノーベル物理学賞の授与など明るいニュースの一方で、相次ぐ台風襲来、御嶽山や阿蘇山の噴火や長野北部の大規模地震など、日本各地で甚大な被害が発生しました。中でも、身近で起きた8月の広島市北部での土砂災害は74人の方が犠牲となられたもので、亡くなられた皆様に哀悼の誠をささげますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げる次第であります。

私たちの暮らしは災害と隣り合わせの中にあるということを常に念頭に置かなければなりません。現在市内22の地域において住民自治協議会を単位とした自主防災組織が設立されているとのことですが、この板城小学校区においても早急に組織化を図り共助による災害への備えを確立したいと考えております。こうしたことから、平成27年は、自主防災組織の設置や板城独自の防災マップの全戸配布、リニューアルした板城音頭による夏祭りの開催など新たに組み込んでまいりたいと思っておりますので、多くの方の御協力をお願いいたします。

終わりに、年頭に当たり皆様方のますますのご活躍とご多幸を祈念いたしますとともに、本年も「人と人が支え合い協力し合うまち」の実現に向け格段のお力添えを賜りますよう懇願申し上げます新年のご挨拶といたします。

防犯・防災部会



(昨年の反省)

「出前講座」が、8月の台風で延期となり、その連絡対応で苦慮した。部会を7回開いたが、全員集まることは珍しく、防災マップ作り等では苦労している。

- ・「防災マップ作り」～過去の情報収集に苦労したが、順調に進行している。
- ・「『飛び出し注意』の看板設置」～未設置である。
- ・「見守り活動」～朝の見守り活動人員が増えてきて、良好である。
- ・「出前講座」～11月29日再度開催。その時のアンケートでは好評であった。

(今年の抱負)

- ・「防災等ハザードマップ」を3月までに完成し、板城地区全世帯に配布する。
- ・上記マップで、地域の防犯・防災意識を高めていきたい。
- ・日頃から、住民同士のつながりを深め、災害時には住民が結束してパワーを発揮し、安全、安心を守れるような地域づくりを目指したい。

福祉部会



(昨年の反省)

・『地域でつむぐ絆と支え合い』（東広島市地域福祉計画第2次）というスローガンのもとに、地域住民がお互いに助け合い、健やかに暮らせるまちづくりを目標に努力した。各団体との連携や支え合いの仕組み作りにも、力を注いだ。

- ・具体的な活動
 - ・「第3回男性料理教室」（8月）
 - ・「敬老会」（9月）
 - ・「あったか交流」（10月～2月）
 - ・「人権学習」（11月）

(今年の抱負)

福祉部会員は、当たり前だが、住民自治協議会・福祉部会の会員であると同時に各自治会の所属会員だ。従って、それぞれが生活している自治会が原点だ。

新年にあたり、この原点に戻り、自治会-自治組織があつてよかった。安心して生活できる地域でよかった。より多数の人たちにそう思っただけのよう、一致団結して、活動していきたい。

環境・景観部会



(昨年の反省)

26年度の活動テーマは、他団体の協賛や区民の協力・支援を受けての「板城地区環境美化活動」で、その一つが「大迫山・多目的広場の環境づくり」となりました。

・「大迫山」については、草刈り・丸太の更新・急傾斜地へのロープ新設・更新・古木倒木除去等、「安心して登れる遊歩道整備」に努めた。

・「全地区一斉環境美化作業」は、本年度から各自治会が独自に実施時期・実施方法を決めてやることになり、部会としては飲み物とゴミ袋を配布するだけとした。

・「花いっぱい運動」、その一環として、小学校へ花の苗・球根・用土を提供した。

(今年の抱負)

・27年度の目標は、昨年度の活動の強化・継続。

・「大迫山・多目的広場」については、区民の憩いの場としての利用をより一層PRしていきたい。

スポーツ・文化部会



(昨年の反省)

体育振興会の行事や小学校関係の行事が混在していて、1年に1行事という原則からはかけ離れており、混乱をした。そんな中でも、板城音頭復活に向けて皆さんの協力の元、太鼓や法被の購入もでき、板城音頭お披露目に向けて頑張れた。

・健康づくり事業ウォーキング講座

平日の開催となり参加者が少なかった。

・健康づくり事業ウォーキング体験

東呉道路側道を探索することで新たな発見が多くあった。ご希望の候補地や何かいい提案があれば、お知らせ願いたい。

(今年の抱負)

・板城音頭復活については、「区民まつり」でのお披露目を目指して、なお一層の努力をしていきたい。

・スポーツ・文化活動を通じて、楽しく明るく活動できる板城地域にしていきたい。

・本年も宜しく願います。

自治・広報部会



(昨年の反省)

- ・事務局の応援を得ながら、かろうじて『住民自治協議会だより』を発行した。今後の課題は、折角の広報の場を、いかに活用していくかだと思っている。
- ・「区民まつり」～実行担当者となってみて初めてこういう行事の大変さが分かった次第だ。
- ・「自治・広報部会」としては、各自治会や他部会との連絡を取りながら、情報収集・情報発信をする、さらには、連携を強化するといった役目も持っていると思うが、個々の行事に追われて、全くそんな余裕はなかったというのが現実だ。

(今年の抱負)

- ・上記の通り、「自主防災組織の設置」、「板城音頭の復活」、「防災マップの全戸配布」とか新しい息吹が次々と湧き上がってきている。われわれ「自治・広報部会」としても、その新たな息吹をエネルギーとしながら、当・住民自治協議会のより一層の発展のために、会長をはじめ一致団結して頑張りたいと、新年を迎え気持ちを新たにしているところだ。

「大迫山・多目的広場作り」の作業風景



【編集後記】 各部長さんから、お忙しい中、熱意のある原稿を提出いただき、感謝しています。初めての経験で、意に沿った編集ができたかどうか不安ではありますが、何とか発行にこぎつけほっとしています。Y. T.